

西紀っ子だより



〒669-2716

兵庫県丹波篠山市乗竹650

TEL：079-593-0024

FAX：079-593-0249

Email：el-nishiki@school.sasayama.jp



未来を切り拓き、夢をかなえる力の育成～郷土を愛しこころ豊かにたくましく～

(文責：藤原典英)

杖とは他者に頼ること

9月15日は敬老の日でした。三連休の最終日でしたね。皆様は如何お過ごしになりましたか。この「敬老の日」の発祥が、丹波篠山市の近くである多可町八千代区（当時は多可郡野間谷村）であることは有名な話です。当時の野間谷村村長であった門脇政夫氏が、次の様な思いで提唱されたそうです。

門脇政夫氏：

昭和22年当時は戦後の混乱が続く時期で、子どもたちを戦地に送った親たちは、本当に精神的に疲れていたのです。わたしは当時、福祉政策に力を入れていて、そんな親たちに少しでも報いてあげなければいけないと思いました。そこで「養老の滝」の伝説にヒントを得て、9月15日を「としよりの日」とし、55歳以上の人を対象に敬老会を催すことにしました。…（中略）…お年寄りを大切にする事の大切さ、敬老の精神をこれからも受け継いでいてほしいです。

(敬老のうた「きっとありがとう」を紹介するWebページより)

「55歳以上の人を対象に…」というところに、現代とのギャップを感じる事が出来ます。今、55歳といえばまだまだ現役で仕事をしており、「敬老会に入ってください」と言えば、「もう少し待ってください」という答えが返ってきそうです。

さて、そんな9月15日の朝日新聞「天声人語」に、興味深いことが書いてありました。

朝は4本足、昼は2本足、夕は3本足で歩く生き物は何か。ギリシャ神話に登場するスフィンクスの有名な問いは、ハイハイする赤ちゃんから杖をつく高齢者までの人間の歩みを示す。「夕」は近づく身として思うのだが、杖とは「他者に頼ること」も意味するのではないか。▼霊長類学者の山極寿一さんの近著『老いの思考法』を読み、その思いを強くした。長い時間をかけて老いと向き合う動物は、人間だけだという。進化史の中で人間が「人生後半戦」を獲得したのは、共感力を鍛え、協力し合って困難を乗り越えてきたからなのだ。…（中略）…人間は太古の昔から、迷惑をかけたり、頼ったり、弱みをみせたりしながら支え合ってきた。すべての「杖」を自分で調達しなくていい。きょうは敬老の日。

杖は「他者に頼ること」、そしてその杖は自分で調達しなくていい。お互い様、という言葉がある様に、互いに自分の弱みを見せ合い、共感による協力のもと、皆で助け合っていこうよ…敬老の日の発祥にも、元々はこの様な考えがあったのではないかと想像が膨らみます。老人を敬うだけでなく、同じ村の住民として、我々年下の者を頼ってください、私たちも高齢の皆さんの知恵や力を頼りにしています、という互惠関係を確認する場でもあったのではないかとおもえます。学校も、保護者や教職員だけが子どもにかかわるのではなく、もっと地域の方、地域の高齢の方にかかわっていただけないかと考えています。

そんなことを考えていると、先述の天声人語で触れられていた「老いの思考法」の中に、次の様なことが書かれていました。曰く、霊長類の中でも、「人間だけが多くの大人が関与して教える」、というのです。それには、高齢者の存在が非常に大きかった様です。子どもにとって親は叱られたり罰せられたりという怖い存在であるため、教える立場には立ちにくいのです。しかし、親よりも一段階上の高齢者は、保護者的な立場でありながらも、子育ての現役から退いた立場であるため、遊びながら楽な関係性の中で子どもに様々なことを伝えられる特権的なポジションにいるというのです。

そこで、山極先生は「人間だけに許された〈教えー教えられる〉喜びを、人生後半戦にこそ楽しんでほしいと思います」と書かれています。地域の皆様、どうか西紀っ子に積極的にかかわってください。そうすることが、大人も子どもも、互いに自分なりの「杖」をもって、安心して地域の中でくらしにくことにつながると信じています。

○全校学習タイム～西紀のみりょく再発見！○

2学期の全校学習タイムが始まりました。今回は、「西紀地区の魅力を再発見する」という活動を通して、自分一人では得られなかった知識・情報、ものの見方や考え方を身につけていこうという学習になります。第一回目となった9月11日（木）には、市役所の商工観光課主事・野口翔大様にゲストティーチャーとしてお越しいただき、丹波篠山市が力を入れている観光産業についてのお話をうかがうことが出来ました。お話の後は、縦割り班で分かれて、自分たちが知っている西紀の魅力を挙げていきました。子どもたちの書いたものは、校内に掲示してあり、更に追記していく様になっています。地域の皆様も、機会があれば学校にお立ち寄りいただいたり、村の中で西紀っ子を見かけたりした際に、子どもたちが気づいていない西紀の魅力を伝えてやってください。



○西紀音頭を習いました～伝統芸能にふれる○

9月16日（火）に、運動会の時に皆で踊る、「西紀音頭」の練習をしました。西紀音頭保存会から利根様・田中様・飯田様の三名におこしいただきました。まずは全校の前で模範演技を見せてもらってから、全校での練習となりました。細かいところまで丁寧に指導していただいたおかげで、子どもたちも上手に踊ることが出来る様になりました。

三名の先生からは、子どもたちの様子に、「元気に踊っていました」「シャキシャキとして、きちんと踊っていました」という声をいただきました。また、西紀小唄から西紀音頭への変遷の歴史も聞くことが出来ました。西紀音頭保存会も随分長く続けて活動されているとのことで、「後世に伝え、西紀音頭を残していきたい」という熱い思いに触れることが出来ました。西紀っ子の中から、伝統芸能を残していこうという思いをもった子が出てきたら嬉しいですね。

西紀音頭保存会は、毎月第1・3土曜日の14:00～15:30頃、西紀老人福祉センターで練習をされているとのことです。地区の皆様も一度顔を出されては如何でしょうか。



△10月の行事予定▽※学校のホームページからも行事予定が確認出来ます。変更分もそちらから確認出来ます。

1日（水）	市長訪問（3・4年生）	22日（水）	朝のお話会
2日（木）	さつまいも掘り		オープンスクール
3日（金）	後期児童会立候補受付（～10日）	23日（木）	和楽器鑑賞会（5・6年生）
7日（火）	地域校外学習		マラソン前健康診断
10日（金）	1年生校外学習（須磨シーワールド）	24日（金）	委員会活動
13日（月）	祝日・スポーツの日	27日（月）	人権朝会
16日（木）	みんな遊び・地区会議	28日（火）	4年生校外学習（県庁その他）
17日（金）	クラブ活動	29日（水）	外掃除
21日（火）	後期児童会選挙	30日（木）	修学旅行（～31日）



▽ふるさと朝会～川崎剛さんに学ぶ△

9月8日（月）に、ふるさと朝会を行いました。今回は、学校の田んぼや畑で日頃からお世話になっている川崎剛様にお話のお願いをしました。西紀の魅力や、農業という仕事の魅力について、お話をしていただくことが出来ました。また、「若い時に町にでていくことで、西紀の良さ（生まれ育った町の良さ）に気がつくことが出来た」というお話には、私自身強く共感することが出来ました。

◎ご意見・感想をお聞かせ下さい◎

「西紀っ子だより」へのご意見や感想をお聞かせ下さい。

右のQRコードを読み取っていただくと、フォームにつながります。または、学校でお話をうかがうことも出来ます。いつでもお越しください。

